平成 14年 11月期 個別財務諸表の概要



平成 15年 1月 24日

上 場 会 社 名 株式会社 協和コンサルタンツ

コード番号 9647

登録銘柄

本社所在都道府県

問合せ先 責任者役職名

(URL http://www.kyowa-c.co.jp/)

執行役員経営管理室長

東京都

名 末廣 紀彦 TEL (03) 3376 - 3171

決算取締役会開催日

平成 15年 1月 24日

中間配当制度の有無

定時株主総会開催日

平成 15年 2月 27日

単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000 株)

1.14年 11月期の業績(平成 13年 12月 1日 ~ 平成 14年 11月 30日)

(1)経営成績

()						
	売 上	高	営 業 利	山 益	経常系	亅 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14年 11月期	5,826	1.8	200	-	144	-
13年 11月期	5,720	16.0	209	-	260	-

	当期純利益		1 株 当 た 当期純利益	り盆	潜在株式 後 1 株当 当期純	1たり	株主資本 当期純利益率	総 資 本 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	巴	銭	%	%	%
14年 11月期	45	-	7	7.73		-	4.0	2.2	2.5
13年 11月期	1,624	-	277	7.09		-	-	-	-

(注) 期中平均株式数

14年 11月期 5,861,000 株

13年 11月期 5,861,000 株

会計処理の方法の変更

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2)配当状況

(2)40 = 1/1/06		1 株	当たり年間	t口 >	配当金総額	配当性向	株主資本		
		1 1/1	中間	=0=	ョ 业 期末		(年間)	HU크 III 19	配当率
	P	9 銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
14年 11月期		-				-	-	-	-
13年 11月期		-				-	-	-	-

(注)14年11月期期末配当金の内訳 記念配当 - 円 銭、 特別配当 - 円 銭

(3)財政状態

	総 資 産	総資産株主資本		1 株当たり株主資本		
	百万円	百万円	%	円 銭		
14年 11月期	6,650	1,124	16.9	191.91		
13年 11月期	6,564	1,074	16.4	183.25		

(注) 期末発行済株式数 14年 11月期

5,861,000 株 13年 11月期

5,861,000 株

期末自己株式数 14年 11月期

株 13年 11月期

2.15年 11月期の業績予想(平成 14年 12月 1日 ~ 平成 15年 11月 30日)

Ī		売上高	経常利益	当期純利益	1 杉	*当たり年間配	当金	
					中間	期末		
Ī		百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銵	円	銭
	中間期	3,900	350	300		-	-	
	通 期	5,700	240	150	-	-		-

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 25円59銭

財務諸表等

財務諸表

貸借対照表

負旧刈紙衣			事業年度			4年第年度	
区分	注記番号	金額(13年11月30日) 千円)	構成比 (%)		14年11月30日) 千円)	構成比 (%)
 (資産の部)	ш Э			(70)			(70)
流動資産							
現金及び預金	1		1,528,680			1,737,805	
受取手形			18,127			14,959	
完成業務未収入金			797,986			1,024,903	
有価証券	1		53,585			49,935	
未成業務支出金			748,636			625,146	
前払費用			64,726			53,136	
繰延税金資産			1,800			1,740	
未収入金						67,173	
その他			67,896			2,978	
流動資産合計			3,281,439	50.0		3,577,777	53.8
固定資産							
1 有形固定資産							
建物	1	188,780			183,276		
減価償却累計額		91,572	97,207		92,357	90,919	
構築物		3,000			3,000		
減価償却累計額		448	2,551		726	2,273	
車輌運搬具		5,300			5,300		
減価償却累計額		5,048	251		5,048	251	
器具及び備品		123,446			108,529		
減価償却累計額		101,924	21,521		91,024	17,504	
土地	1		724,890			724,890	
有形固定資産合計			846,422	12.9		835,838	12.6
2 無形固定資産							
借地権			10,000			10,000	
ソフトウェア			130,614			84,503	
電話加入権			5,925			5,925	
無形固定資産合計			146,540	2.2		100,429	1.5

		前事業年度 (平成13年11月30日)				á事業年度 14年11月30日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)		構成比 (%)
3 投資その他の資産							
投資有価証券	1		90,941			68,141	
関係会社株式			316,868			316,868	
従業員長期貸付金			19,244			15,600	
関係会社長期貸付金			1,319,500			1,312,000	
繰延税金資産			767,120			756,536	
差入保証金	1		435,205			353,616	
施設会員権			1,350				
保険積立金	1		294,948			323,679	
その他			2,169			1,891	
貸倒引当金			957,500			1,012,000	
投資その他の資産合計			2,289,848	34.9		2,136,334	32.1
固定資産合計			3,282,811	50.0		3,072,602	46.2
資産合計			6,564,250	100.0		6,650,380	100.0

		前 (平成1]事業年度 3年11月30日)			4事業年度 14年11月30日)	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
流動負債							
業務未払金	3		568,207			598,815	
短期借入金	1		2,600,000			2,890,000	
1 年内返済予定 長期借入金	1		345,700			219,300	
未払金			215,745			226,951	
未払費用			146,333			104,506	
未払法人税等			9,267			27,333	
未成業務受入金			441,529			450,905	
預り金			11,843			10,308	
未払消費税等			3,289				
流動負債合計			4,341,915	66.1		4,528,119	68.1
固定負債							
長期借入金	1		311,500			225,300	
退職給付引当金			293,528			285,965	
債務保証損失引当金			526,000			471,500	
その他			17,277			14,737	
固定負債合計			1,148,306	17.5		997,502	15.0
負債合計			5,490,220	83.6		5,525,622	83.1
(資本の部)							
資本金	2		1,000,000	15.3		1,000,000	15.0
資本準備金			997,899	15.2		997,899	15.0
利益準備金			99,200	1.5		99,200	1.5
その他の剰余金 又は欠損金							
1 任意積立金							
別途積立金		547,000	547,000		547,000	547,000	
2 当期未処理損失			1,563,263			1,517,951	
欠損金合計			1,016,263	15.5		970,951	14.6
その他有価証券 評価差額金			6,807	0.1		1,390	0.0
資本合計			1,074,028	16.4		1,124,757	16.9
負債資本合計			6,564,250	100.0		6,650,380	100.0

損益計算書

頂血 川 并首				-	1		
		(自 平原				á事業年度 成13年12月 1 日 成14年11月30日	1)
区分	注記 番号	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
売上高							
完成業務高			5,720,874	100.0		5,826,477	100.0
売上原価							
完成業務原価	1		3,907,844	68.3		3,984,849	68.4
売上総利益			1,813,029	31.7		1,841,627	31.6
販売費及び一般管理費							
役員報酬		160,723			120,727		
給与賞与手当		871,931			736,510		
福利厚生費		115,929			97,311		
退職金		64,729					
退職給付費用		21,781			9,767		
通信交通費		149,518			133,850		
地代家賃・賃借料		279,956			241,204		
研究開発費	2	2,486			4,520		
減価償却費		71,719			52,860		
その他		283,822	2,022,598	35.4	244,060	1,640,814	28.2
営業利益又は 営業損失()			209,569	3.7		200,813	3.4
営業外収益							
受取利息	1	10,644			9,557		
業務指導料収入	1	19,285					
受取地代家賃		10,068			10,617		
雑収入		9,962	49,961	0.9	7,827	28,002	0.5
営業外費用							
支払利息		71,320			83,763		
デリバティブ取引評価損		29,242					
雑支出		9	100,573	1.7	702	84,466	1.4
経常利益又は 経常損失()			260,181	4.5		144,349	2.5

		前事業年度 (自 平成12年12月 1 日 至 平成13年11月30日)			(自 平)	4事業年度 成13年12月 1 日 成14年11月30日	l l)
区分	注記 番号	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
特別利益							
貸倒引当金戻入益		8,500					
保険金収入		100,039	108,539	1.9	11,757	11,757	0.2
特別損失							
固定資産除却損	3	23,251			9,081		
投資有価証券評価損					24,892		
施設会員権売却損		199,885					
退職給付会計基準 変更時差異		258,655					
役員退職慰労金		110,870					
事業構造改革特別損失	4	1,500,000			17,896		
特別退職金					17,834		
その他		80,986	2,173,649	38.0	4,190	73,895	1.3
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失()			2,325,291	40.6		82,211	1.4
法人税、住民税及び事業税		29,229			30,170		
法人税等調整額		730,500	701,270	12.2	6,730	36,900	0.6
当期純利益又は 当期純損失()			1,624,020	28.4		45,311	0.8
前期繰越利益又は 前期繰越損失()			60,757			1,563,263	
当期未処理損失			1,563,263			1,517,951	

完成業務原価明細書

		前事業年度 (自 平成12年12月 至 平成13年11月	1日 30日)	当事業年度 (自 平成13年12月 至 平成14年11月	1日 30日)
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
業務委託費		2,222,807	56.9	2,704,476	67.9
人件費		1,134,569	29.0	723,076	18.1
経費		550,467	14.1	557,295	14.0
当期完成業務原価計		3,907,844	100.0	3,984,849	100.0

(脚注)

	前事業年度		当事業年度
注 1	人件費に含まれる退職給付費用は32,044千円であります。	注1	人件費に含まれる退職給付費用は18,471千円であ ります。
注 2	原価計算の方法は、個別原価計算によっておりま す。	注2	原価計算の方法は、個別原価計算によっておりま す。

損失処理計算書

		前事業年度 株主総会承認日 (平成14年 2 月27日)	当事業年度 株主総会承認日 (平成15年 2 月27日)	
区分	注記番号	金額(千円)	金額(千円)	
当期未処理損失		1,563,263	1,517,951	
次期繰越損失		1,563,263	1,517,951	

重要な会計方針

	項目	前事業年度 (自 平成12年12月 1 日 至 平成13年11月30日)	当事業年度 (自 平成13年12月 1 日 至 平成14年11月30日)
1	有価証券の評価基準及び 評価方法	子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法	子会社株式及び関連会社株式 同左
	#1 IE/3/E	その他有価証券	その他有価証券
		時価のあるもの	同左
		決算日の市場価格に基づく時価法	,
		(評価差額は全部資本直入法によ	
		り処理し、売却原価は移動平均法	
		により算定)	
		時価のないもの	時価のないもの
		移動平均法による原価法	同左
2	デリバティブの評価基準	デリバティブ	デリバティブ
	及び評価方法	時価法	同左
3	たな卸資産の評価基準及	未成業務支出金	未成業務支出金
	び評価方法	個別法による原価法	同左
4	固定資産の減価償却の方	有形固定資産	有形固定資産
	法	定率法	同左
		なお、平成10年4月1日以降に	
		取得した建物(建物附属設備は除	
		く)については、定額法を採用し	
		ております。	
		主な耐用年数は以下のとおりで	
		あります。	
		建物 4~47年	加以中央交
		無形固定資産	無形固定資産
		定額法 なお、自社利用のソフトウェア	同左
		はの、自私利用のシフトウェア については、社内における利用可	
		能期間(5年)に基づく定額法を採	
		能期间(3年)に基づくた顔法を採 用しております。	
5		開発費	
	かんス圧いたエバル	商法の規定する最長期間(5年間)で均	
		等償却	

項目	前事業年度 (自 平成12年12月 1 日 至 平成13年11月30日)	当事業年度 (自 平成13年12月 1 日 至 平成14年11月30日)
6 引当金の計上基準	貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回	貸倒引当金 同左
	収不能見込額を計上しております。 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当 事業年度末における退職給付債務及び 年金資産の見込額に基づき、当事業年 度末において発生していると認められ る額を計上しております。 なお、会計基準変更時差異(258,655千円)については、一括償却しておりま す。 数理計算上の差異は、発生時の翌期に 一括費用処理することとしておりま す。	退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当 事業年度末における退職給付債務及び 年金資産の見込額に基づき、当事業年 度末において発生していると認められ る額を計上しております。 なお、数理計算上の差異は、発生時の 翌期に一括費用処理することとしてお ります。
	債務保証損失引当金 債務保証に係る損失に備えるため、 被保証先の財政状態等を勘案し、損失 負担見込額を計上しております。	債務保証損失引当金 同左
7 リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転する と認められるもの以外のファイナン ス・リース取引については、通常の賃 貸借取引に係る方法に準じた会計処理 によっております。	同左
8 ヘッジ会計の方法	重要なヘッジ会計の方法 ヘッジ会計の方法 特例処理の要件を満たす金利ス ワップについては、特例処理を採 用しております。	重要なヘッジ会計の方法 ヘッジ会計の方法 同左
	ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段金利スワップ、 金利オプション ヘッジ対象借入金 ヘッジ方針	ヘッジ手段とヘッジ対象同左ヘッジ方針
	将来の金利変動によるリスクを ヘッジする目的でデリバティブ取 引を導入しております。	同左
	ヘッジ有効性評価の方法 基本的にヘッジ手段とヘッジ対象の条件がほぼ同じであり、、 ジ開始時及びその後も継続・フリー変動を相殺してもフリーで動を相殺して有効性の評価を省略しております。それ以、ヘッジ取引につきましては、ヘッジ取引開始時の予定キャッシュ・フローの累計との差異を比	ヘッジ有効性評価の方法 同左
9 消費税等の処理方法	較する方法によっております。 消費税及び地方消費税の会計処理は、 税抜方式によっております。	同左

(表示方法の変更)

	前事業年度
(自	平成12年12月 1 日
至	平成13年11月30日)

当事業年度 (自 平成13年12月1日 至 平成14年11月30日)

(貸借対照表)

前期まで区分掲記しておりました預り保証金(当期末 残高1,508千円)は、負債資本合計の100分の1以下であ るため、固定負債の「その他」に含めて表示しており ます。

(貸借対照表)

前期まで流動資産の「その他」に含めて表示しておりました未収入金は、資産合計の100分の1を超えることとなったため、区分掲記することに変更しております。

なお、前期における「未収入金」の金額は62,685千円であります。

前期まで区分掲記しておりました施設会員権(当期末残高1,350千円)は、資産合計の100分の1以下であるため、投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。

前期まで区分掲記しておりました未払消費税等(当期末残高23,885千円)は、負債資本合計の100分の1以下であるため、「未払金」に含めて表示しております。

(損益計算書)

前期まで特別損失の「その他」に含めて表示しておりました特別退職金は、特別損失の総額の100分の10を超えることとなったため、区分掲記することに変更しております。

なお、前期における「特別退職金」の金額は56,011千円であります。

(損益計算書)

前期まで区分掲記しておりました有価証券利息(当期93千円)、受取配当金(当期786千円)及び有価証券売却益(当期493千円)は、いずれも営業外収益の総額の100分の10以下であるため、営業外収益の「雑収入」に含めて表示しております。

(追加情報)

	前事業年度
(自	平成12年12月1日
至	平成13年11月30日)

当事業年度

(自 平成13年12月1日 至 平成14年11月30日)

(退職給付会計)

当期から退職給付に係る会計基準(「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成10年6月16日))を適用しております。この結果、従来の方法によった場合と比較して、退職給付費用が239,850千円増加し、経常損失は16,974千円減少し、税引前当期純損失は241,681千円増加しております。

なお退職給与引当金は、退職給付引当金に含めて表示しております。

(金融商品会計)

当期から金融商品に係る会計基準(「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成11年1月22日))を適用し、有価証券の評価方法、貸倒引当金の設定方法、デリバティブ取引の会計処理方法等について変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比較して経常利益は5,019千円減少し、税引前当期純損失は12,155千円増加しております。

また、期首時点で保有する有価証券の保有目的を検討し、その他有価証券に含まれている債券のうち1年内に満期の到来するものは流動資産の有価証券として、それ以外は投資有価証券として表示しております。その結果、流動資産の有価証券は7,237千円減少し、投資有価証券は7,237千円増加しております。

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成13年11月30日)		当事業年度 (平成14年11月30日)		
1 担保提供資産			730日)	
担保に供されている資産		担保に供されている資産		
預金	1,211,151千円	預金	1,377,151千円	
有価証券	49,915千円	有価証券	49,935千円	
建物	70,645千円	建物	68,770千円	
土地	689,324千円	土地	689,324千円	
	47,170千円		44,819千円	
保険積立金	250,475千円	差入保証金	62,176千円	
計	2,318,682千円	保険積立金	273,325千円	
	_,,,,,,,,,,	<u> </u>	2,565,504千円	
上記に対応する債務		上記に対応する債務	_,===,===,===	
短期借入金	1,136,100千円	短期借入金	2,418,600千円	
長期借入金(1年内返済予定 長期借入金を含む)	581,900千円	長期借入金(1年内返 長期借入金を含む)		
関係会社の借入金	1,378,500千円	関係会社の借入金	1,301,500千円	
計	3,096,500千円	計	4,164,700千円	
2 会社が発行する株式の総数	20,000,000株	2 会社が発行する株式の総	8数 20,000,000株	
発行済株式の総数	5,861,000株	発行済株式の総数	5,861,000株	
3 関係会社に対する主な債権債務	は、次のとおりで	3 関係会社に対する主な債	権債務は、次のとおりで	
あります。		あります。		
差入保証金	179,170千円	差入保証金	179,170千円	
業務未払金	358,976千円	業務未払金	357,486千円	
4 偶発債務		4 偶発債務		
下記の会社の金融機関からの借入:	金について債務保	下記の会社の金融機関から	の借入金について債務保	
証を行っております。		証を行っております。		
天工侑)	700,713千円	天工(有)	615,030千円	
天工(株)	630,000千円	天工(株)	585,000千円	
㈱ケーイーシー商事	318,000千円	(株)ケーイーシー商事	284,750千円	
㈱ケーイーシー・ <u>インターナショナル</u>	162,000千円	㈱ケーイーシー・ <u>インターナショナル</u>	119,500千円	
計	1,810,713千円	計	1,604,280千円	
<u></u> 債務保証損失引当金	526,000千円	債務保証損失引当金	471,500千円	
合計	1,284,713千円	合計	1,132,780千円	
なお、債務保証損失引当金は、天工㈱及び天工侑に		なお、債務保証損失引当金	は、天工㈱及び天工侑に	
対するものであります。		対するものであります。		
		上記のほか、関係会社㈱ケー・デー・シーの取引に		
		基づく債務に対し、連帯係	髹証を行っております。	
		業務未払金	1,610千円	

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成12年12月1日 至 平成13年11月30日)	当事業年度 (自 平成13年12月 1 日 至 平成14年11月30日)		
1 関係会社との主な取引は、次のとおり含まれてお	1 関係会社との主な取引は、次のとおり含まれてお		
ります。	ります。		
(1) 完成業務原価 1,247,837千円	(1) 完成業務原価 1,863,612千円		
(当期業務委託費)	(当期業務委託費)		
(2) 受取利息 8,435千円	(2) 受取利息 8,685千円		
業務指導料収入 19,285千円			
2 一般管理費に含まれる研究開発費は2,486千円で	2 一般管理費に含まれる研究開発費は4,520千円で		
あります。	あります。		
3 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。	3 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。		
建物 19,018千円	建物 6,337千円		
器具及び備品 4,127千円	器具及び備品 2,743千円		
車輌運搬具 105千円			
4 事業構造改革特別損失は、天工㈱及び天工(制に対			
するものであり、株式評価損相当額16,500千円、			
貸倒損失見込額957,500千円及び債務保証損失見			
込額526,000千円であります。			

(リース取引関係)

前事業年度

(自 平成12年12月1日 至 平成13年11月30日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるも の以外のファイナンス・リース取引

1 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当 額及び期末残高相当額

A			
	取得価額 相当額 (千円)	減価償却累 計額相当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)
器具及び備品	192,894	152,494	40,400
その他	168,893	97,007	71,886
計	361,787	249,501	112,286

2 未経過リース料期末残高相当額

1年内57,762千円1年超76,664千円計134,427千円

3 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当 額

支払リース料84,204千円減価償却費相当額75,900千円支払利息相当額7.861千円

4 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする 定額法によっております。

5 利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。

当事業年度

(自 平成13年12月1日 至 平成14年11月30日)

- 1 リース物件の所有権が借主に移転すると認められる もの以外のファイナンス・リース取引
 - (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償却累 計額相当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)
器具及び備品	89,058	50,741	38,317
その他	86,182	48,332	37,849
計	175,240	99,073	76,166

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1年内35,990千円1年超44,499千円計80,489千円

(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相 当額

支払リース料57,448千円減価償却費相当額51,512千円支払利息相当額5,029千円

(4) 減価償却費相当額の算定方法

同左

(5) 利息相当額の算定方法

同左

2 オペレーティング・リース取引未経過リース料

1年内1,238千円1年超2,730千円計3,968千円

(有価証券関係)

前事業年度(平成13年11月30日)及び当事業年度(平成14年11月30日)における子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計関係)

前事業年度 (自 平成12年12月 1 日		当事業年度 (自 平成13年12月 1 日			
至 平成13年11月30日)			至 平成14年11月30日	<u></u>	
1	繰延税金資産の発生の主な原因別の	の内訳	1	繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳	
	繰延税金資産			繰延税金資産	
	退職給付引当金超過額	111,758千円		退職給付引当金超過額	104,826千円
	関係会社株式評価損	17,897千円		関係会社株式評価損	17,897千円
	貸倒引当金否認	402,150千円		貸倒引当金否認	422,914千円
	債務保証損失引当金否認	220,920千円		債務保証損失引当金否認	198,030千円
	税務上の繰越欠損金	240,306千円		税務上の繰越欠損金	194,160千円
	有価証券評価損否認	7,354千円		有価証券評価損否認	8,579千円
	有価証券評価差額金	4,925千円		有価証券評価差額金	1,006千円
	その他	3,913千円		その他	5,022千円
	繰延税金資産の小計	1,009,226千円		繰延税金資産の小計	952,437千円
	評価性引当額	240,306千円		評価性引当額	194,160千円
	繰延税金資産の合計	768,920千円		繰延税金資産の合計	758,276千円
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担		2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担			
	率との差異の原因となった主要なエ	頁目別内訳	率との差異の原因となった主要な項目別内訳		
当期純損失を計上しているため、記載を省略して			法定実行税率	42.0%	
おります。			(調整)		
				欠損金の使用等による減算効果	46.6%
				住民税均等割	33.0%
				過年度法人税等	3.6%
				交際費等永久に損金に算入され ない項目	12.0%
				その他	0.8%
				税効果会計適用後の法人税等の 負担率	44.8%

(役員の異動)

平成15年2月27日開催の定時株主総会の承認を得て、下記の異動を予定しております。

監査役の異動

新任監査役候補(平成15年2月27日付予定)

監查役 金村 晃 (現 子会社監查役)

監査役 五十嵐芳男 (現 監査役)

監査役 野島 親邦 (現 子会社顧問弁護士)

退任予定監査役

監查役 天野 昭夫 (現 監查役) 監查役 五十嵐芳男 (現 監查役)